2015年8月6日

広　報　資　料

株式会社Darma Tech Labs

2015年9月 日本初の量産化試作を前提とした

ものづくりベンチャー支援プログラム「Makers Boot Camp」が始動**www.makersboot.camp**

日本初の量産化試作にフォーカスしたベンチャー支援プログラム「Makers Boot Camp」が始動

○　試作のプロ集団「京都試作ネット」と連携してものづくりベンチャーをサポート

○　デモ用試作から量産化までシームレスなサポートを提供

○　2015年9月　第1期プログラム採択企業が決定

近年、メーカーズ・ムーブメントが起こり、世界中でものづくりのベンチャー企業(ハードウェアやInternet of Things)が注目されています。一方、これらの企業の多くが製造面でのノウハウに乏しく、特に試作品から量産化に移行する「量産化試作の壁」に直面しています。

そこで、株式会社Darma Tech Labs(本社：京都市下京区、代表者：牧野 成将)は量産化試作のプロフェッショナル集団「京都試作ネット(代表：株式会社クロスエフェクト 代表取締役 竹田 正俊)」と連携して、ものづくりベンチャー企業の量産化をスムーズに促す日本初の量産化試作を前提としたベンチャー支援プログラム「Makers Boot Camp(MBC)」を開始します。MBCでは、「デモ用試作(単に動くのみの段階)」「展示会用試作(完成品をイメージ出来る段階)」「量産化試作(量産化に向けた仕様を固める段階)」と3つの試作段階をサポートします。この中でも「量産化試作」は独特のノウハウや知識が必要なため、京都試作ネットが培ってきた量産化の技術やノウハウを活用して、ベンチャー企業が求める品質やスピード感に適応した新たな試作のサポートを行います。

この度、2015年9月のMBC第1期プログラム参加者として、京都、東京、大阪など国内のものづくりベンチャー企業6社を以下の通り採択しました。今後は、量産化試作のサポートだけでなく、ものづくりに必要な基礎教育、マーケティングや販売サポート、更にはファンドを通じた開発資金(試作品製作費)を投資するなど　ものづくりベンチャーを全般的にサポートする体制を構築する予定です。また第2期(2016年春を予定)以降は国内企業だけでなく海外ベンチャー企業も積極的に受け入れ、グローバルに展開する予定です。

【第1期の主な採択企業と概要】

* 株式会社アップパフォーマ（ウェアラブルなサッカー用モーションロガーの開発/販売）
* アトモフ株式会社（世界初のスマートなデジタル窓の開発/販売）
* コバン株式会社（スイカ等電子マネーの残高確認できるパスケースの開発/販売）
* Waiston（「ベルトを身に着ける」だけでウエスト測定するデバイスの開発/販売）
* 合同会社AO（クラウド型ボイスレコーダー「CV」の開発/販売）

【京都試作ネット概要】

　京都試作ネットは2001年7月に京都府南部の機械金属関連の中小企業で構成された､部品加工から装置開発まで｢試作に特化したソリューション提供｣を専門とするサイト｡現在は100社以上の中小企業が加盟しており、試作加工の集積地となりつつある。

　ウェブサイト：http://www.kyoto-shisaku.com/

　問い合せ先：070-5669-8194

【問合せ先】

株式会社Darma Tech Labs(ダルマ テック ラボ)

担当：牧野(まきの)　080-5061-7808　makino@makersboot.camp